

第 1 回廃棄物・リサイクル部会における委員意見に関する県の考え方

| 委員意見 | 県の考え方 |
|--|---|
| 子供を対象とした 3R の推進にあたり、教育委員会と連携して啓発活動に取り組んでいただきたい。【大川委員】 | 県では、今年度末を目途に、「千葉県環境学習等行動計画」を策定する予定です。行動計画では、学校等と連携・協働した環境学習の推進を図っていきます。 なお、本計画においても、素案の 63 ページに、環境学習の推進について盛り込んでおります。 |
| バイオマス資源の活用推進については、広域化やエネルギー利用とセットで進めていくという方針を県で持っていたいただきたい。【岡山委員】 | 県では、「千葉県バイオマス活用推進計画」において、バイオマス資源の活用推進に取り組んでいるところですが、令和 2 年度を目標年度としているため、来年度以降新たな検討が必要となります。今回いただいた御意見を踏まえ、県のバイオマス資源の活用推進の方向性等を検討していきます。 なお、本計画においても、素案の 66 ページに、バイオマス資源の活用の推進について盛り込んでおります。 |
| バイオマスについては、県民一人一人の努力のみならず、大きな仕組みでの取組も必要である。バイオマス資源の活用推進については、重点的に取り組んでいただきたい。【桑波田委員】 | バイオマスについては、県民一人一人の努力のみならず、大きな仕組みでの取組も必要である。バイオマス資源の活用推進については、重点的に取り組んでいただきたい。【桑波田委員】 |
| 地域性（地域ごとの取組や達成目標）を考慮した計画を策定することを検討してはどうか。【香村委員】 | 一般廃棄物、産業廃棄物とも、県全体における目標値を設定した上で、県全体での取組を掲げています。一般廃棄物については、各市町村が、地域の実情を踏まえた計画を策定し、計画に従って各種施策を展開しています。 本計画では、市町村の有効な取組等の情報提供などを行い、3R の推進をしていくこととしております。産業廃棄物については、地域別や業種別での発生状況等の推計はしており、業種、品目に着目した取り組みを行うこととしております。一方で、地域内には様々な業種があるなど、地域ごとの目標設定等に難しさもあることから、今後、これらのデータを活用し、どのような形で地域性を考慮した計画策定が可能なのか、研究していきます。 |
| リサイクル率について、品目ごとに整理していただきたい。【香村委員】 | 一般廃棄物については、品目ごとの排出量の把握が困難なため、個別にリサイクル率は算出しておりませんが、分別収集された後の容器包装の再商品化率については、第 1 回環境審議会の資料 2 - 参考の 3 ページに記載しております。 産業廃棄物については、素案の 28 ページに、品目ごとの再生利用率を盛り込みました。 |
| 再生資源であるプラスチックが、再利用されるように県や国が率先して関与していくように計画に盛り込んでいただきたい。【岩楯委員】 | 素案の 7、41、61、62 及び 65 ページに、プラスチック資源の循環利用における県が取り組むべき課題や施策、国のプラスチック資源循環戦略などを盛り込みました。 |
| 最終処分場の逼迫状況など計画に盛り込んでいただきたい。【岩楯委員】 | 素案の 19、34、41、77 及び 78 ページに、県内の最終処分場の逼迫状況や県が取り組むべき課題などを盛り込みました。 |
| 位置付けの図に、ごみ処理広域化・ごみ処理施設集約化に関する事項を盛り込むことを検討してはどうか。【山下委員】 | 素案の 4 ページの図 1 - 3 - 1 に、広域化・集約化計画について盛り込みました。 |